



2026年 7 月14日

各 位

上 場 会 社 名 : **富 士 精 工 株 式 会 社**  
代 表 者 : 代表取締役社長 森 仁 志  
コ ー ド 番 号 : 6 1 4 2 名 証 メ イ ン  
問 合 せ 先 責 任 者 : 執行役員管理副部門長 近藤 規央  
T E L : 0 5 6 5 - 5 3 - 6 6 1 1

## 中期経営計画資料更新に関するお知らせ

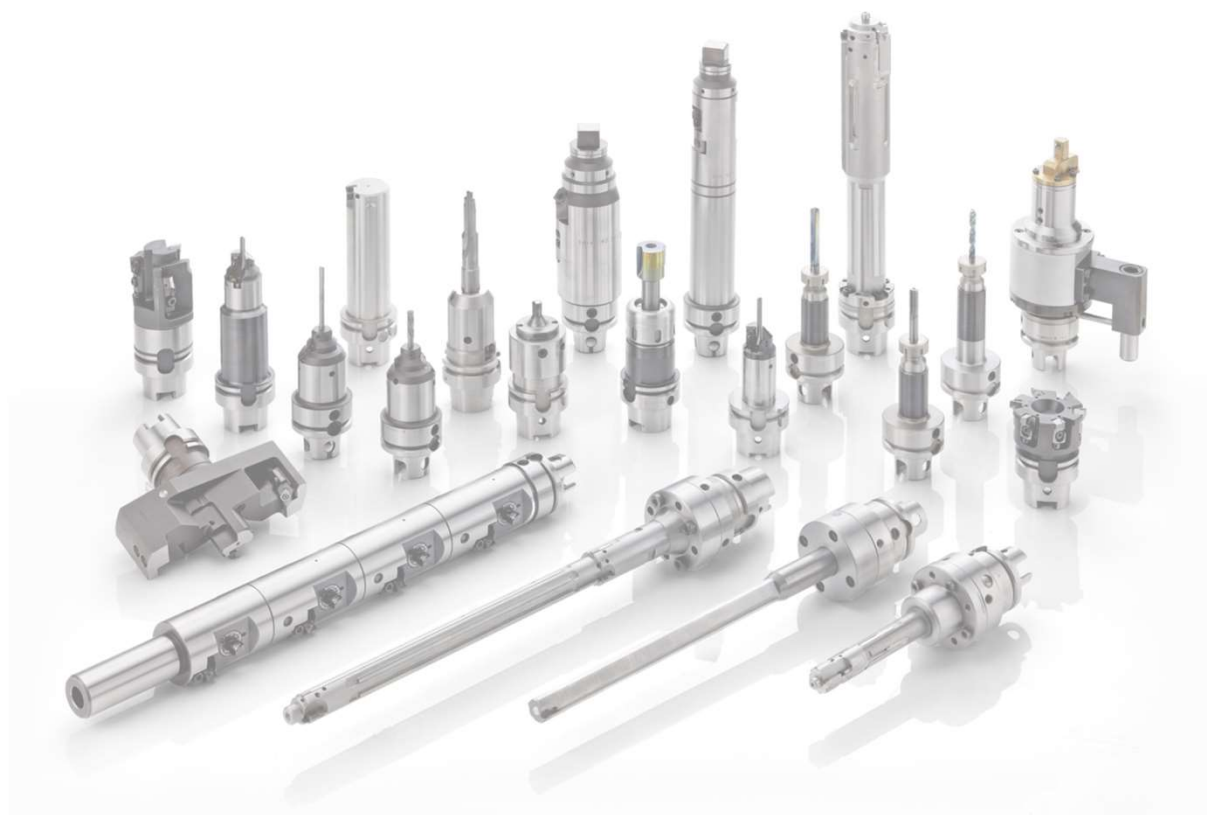
当社は、2025年4月22日に開示いたしました2025年度（2026年2月期）から2027年度（2028年2月期）までの3か年の「富士精工グループ中期経営計画」につきまして更新（経過報告）をいたしましたので、お知らせいたします。

なお、詳細につきましては、添付資料をご覧ください。

以 上

# 中期経営計画2025-2027 進捗報告

2026. 2月期報告



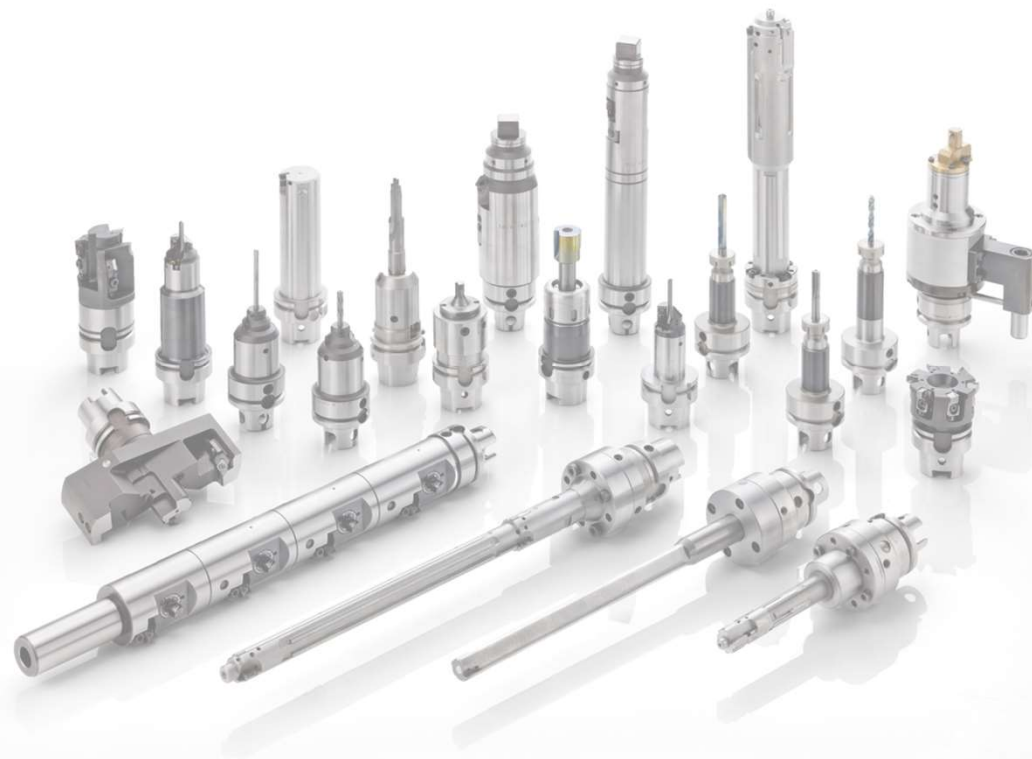
富士精工株式会社

# 中期経営計画2025-2027の進捗報告

2025年度にスタートした中期経営計画は2年目を迎えております。

本中期経営計画は、富士精工グループが2035年におけるビジョンをもとに2027年の目指す姿を達成するために「既存事業の基盤強化」と「新事業展開」を軸に戦略を進めることを計画したものです。

さらなる成長に向けて活動を推し進め、企業価値の向上を目指してまいります。



# I. 2025年度の振り返り



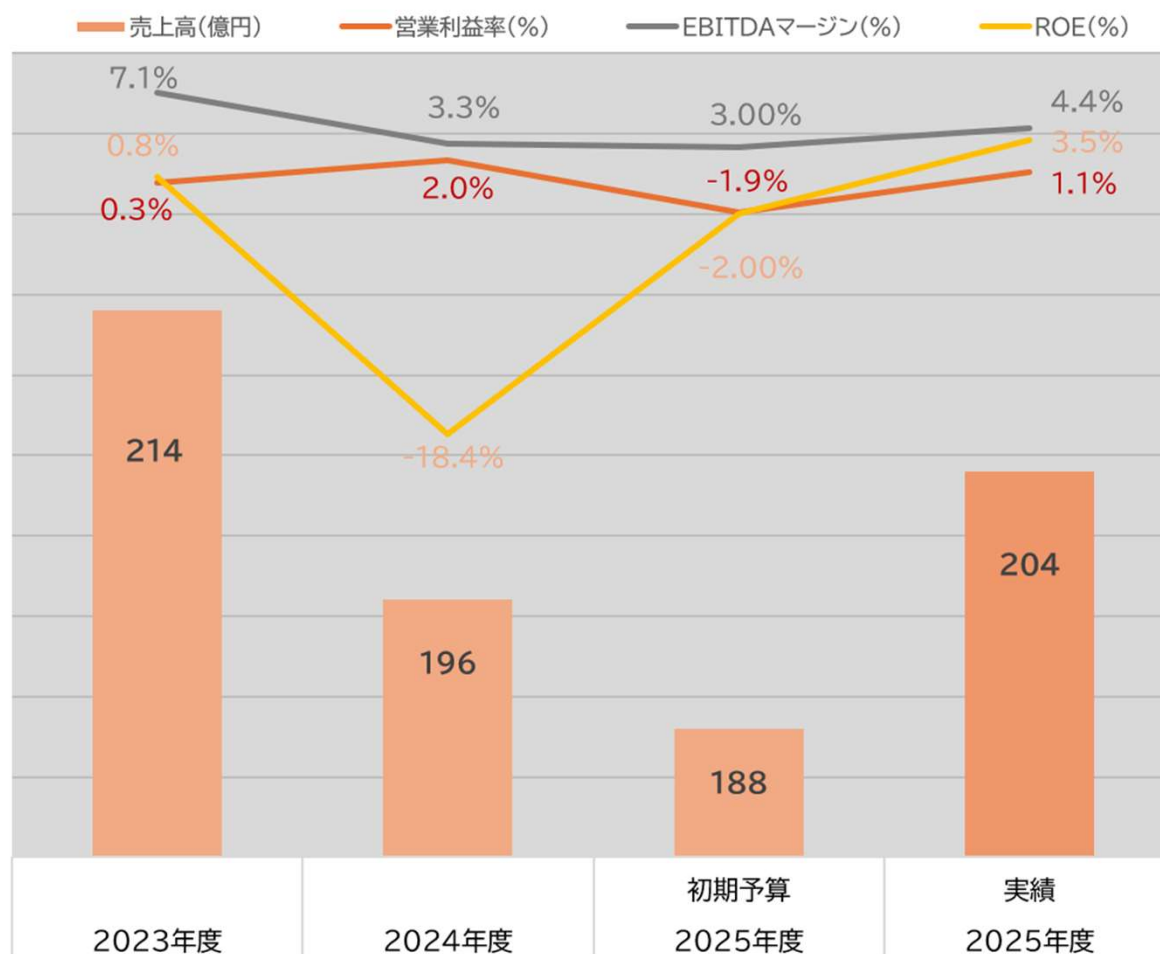
# 2025年度の振り返り <経営数値>

中計初年度は厳しい経営数値目標でスタートいたしました。

既存ビジネスの深掘りを中心に活動し、海外での需要掘り起こしや生産設備の自動化などによる生産性向上を進めました。

米国でのHEV投資拡大が追い風になり営業利益は向上しました。

また、中国子会社の売却、政策保有株式の縮減等の効果によってROEが大きく向上する結果となっております。



## 2024年度

- ・電動自動車化の影響により既存事業において苦戦
- ・減損損失を計上したことにより当期純利益は大きく下落しROEはマイナスを計上

## 2025年度初期予算(中期計画初年度)

- ・電動自動車化の波は大きく既存事業での苦戦が続くと想定、設備事業の伸長も過大な期待はできず
- ・急激な売上収益の減少により営業利益の確保は難しくROEもマイナスを予想

## 2025年度実績(中期計画初年度)

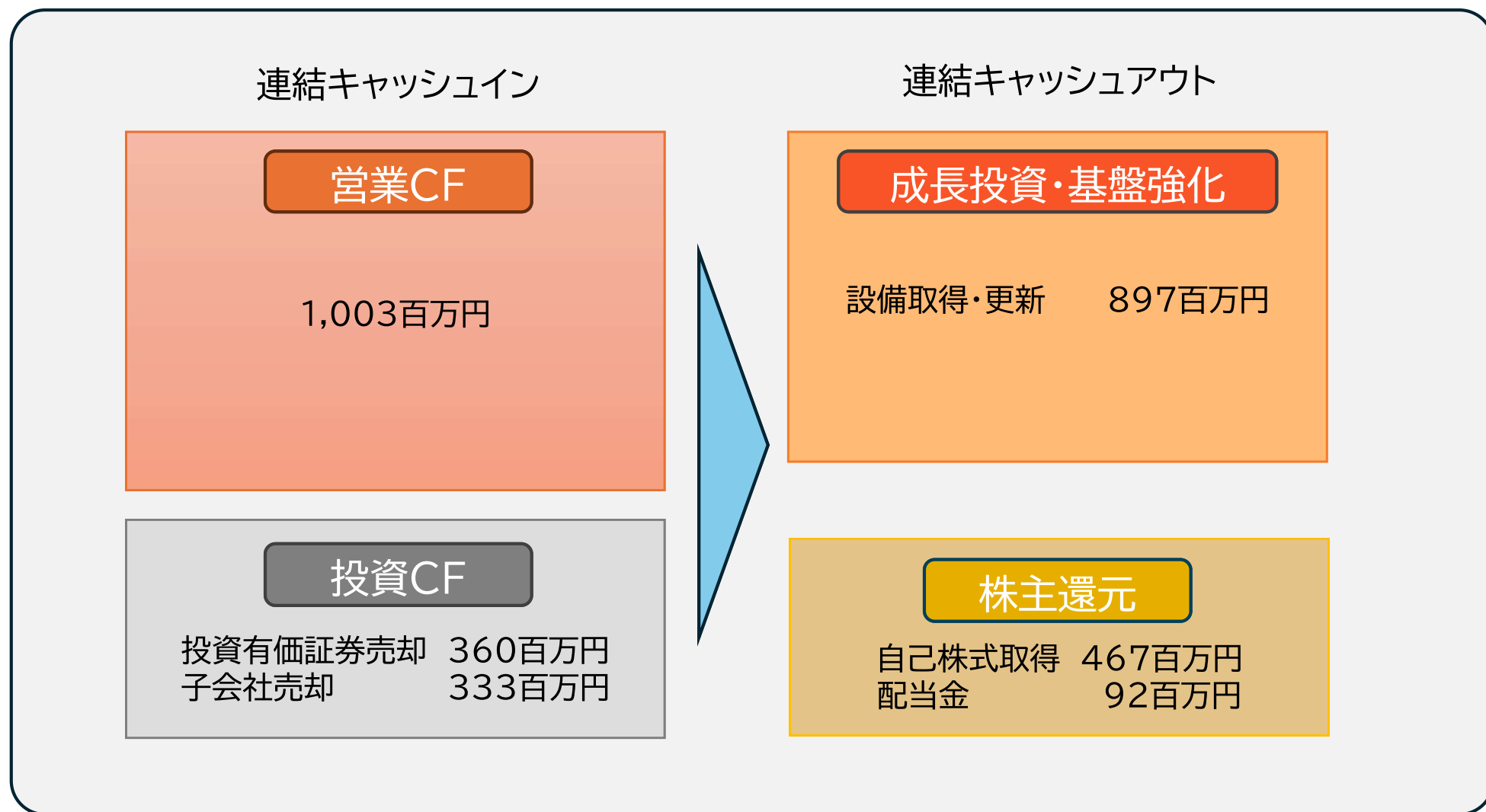
- ・中長期のBEV化は不変だが、足元ではHEV車への投資が拡大していることにより当社既存事業の回復を後押し
- ・子会社売却・投資有価証券売却もROE向上に貢献

前回中期計画

中期計画2025-2027

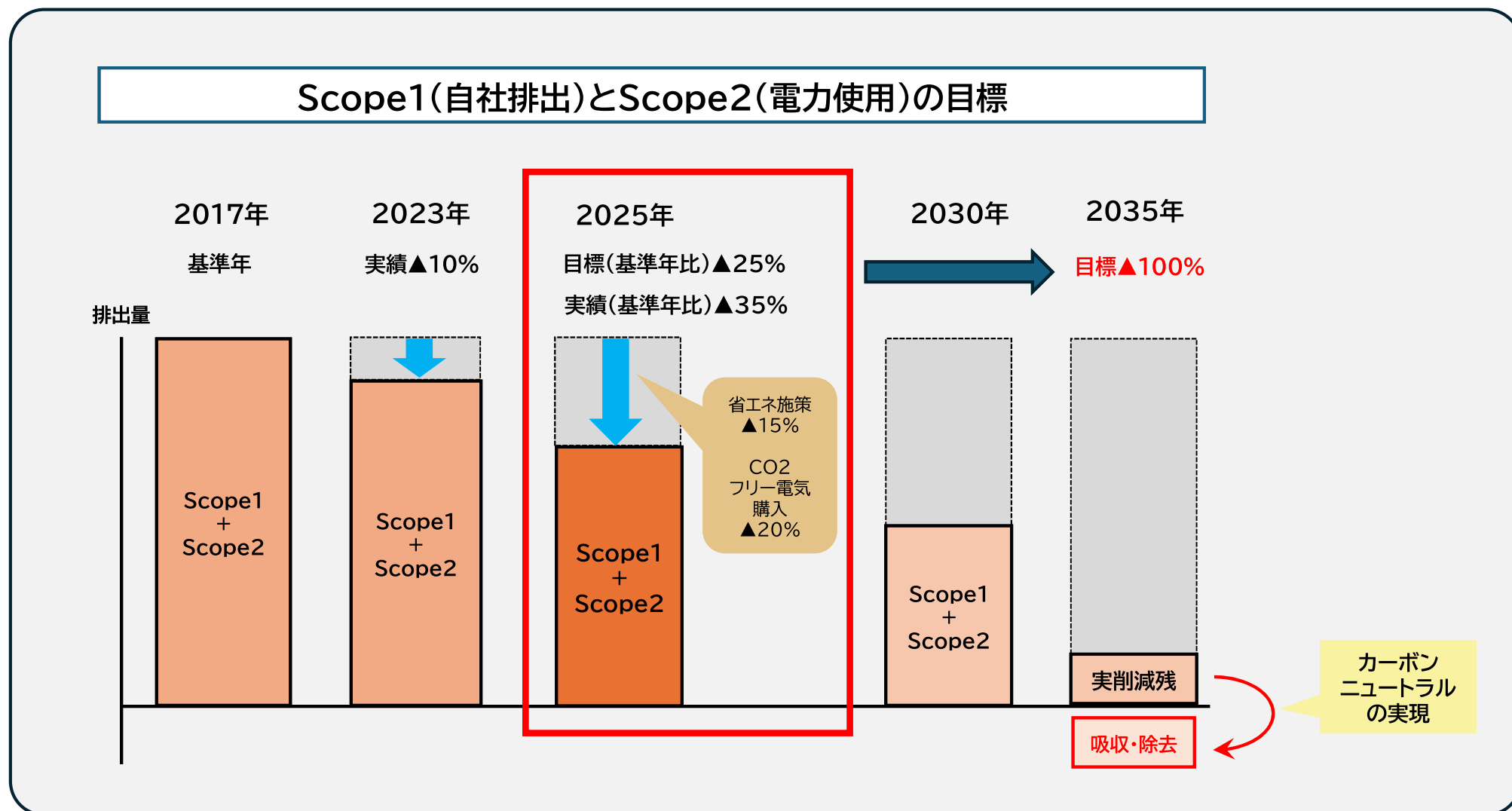
## 2025年度の振り返り <資本政策>

堅調な営業活動により得られたキャッシュに加え、政策保有株式の縮減や中国子会社の売却の実現によって得られた資金を既存事業の基盤強化のための投資や電動車向け周辺装置の開発等への投資を行いました。また、機動的な資本政策の遂行を目的として自己株式の取得を行い、配当金については2025年2月期確定分を支払っております。



## 2025年度の振り返り <カーボンニュートラル活動>

事業活動で生じる Scope1、2のCO2排出量を、2035年までに実質ゼロにする目標にむけて活動中です。  
2025年は主にCO2フリー電気への置換え等の効果により基準年比▲35%の削減を実現いたしました。

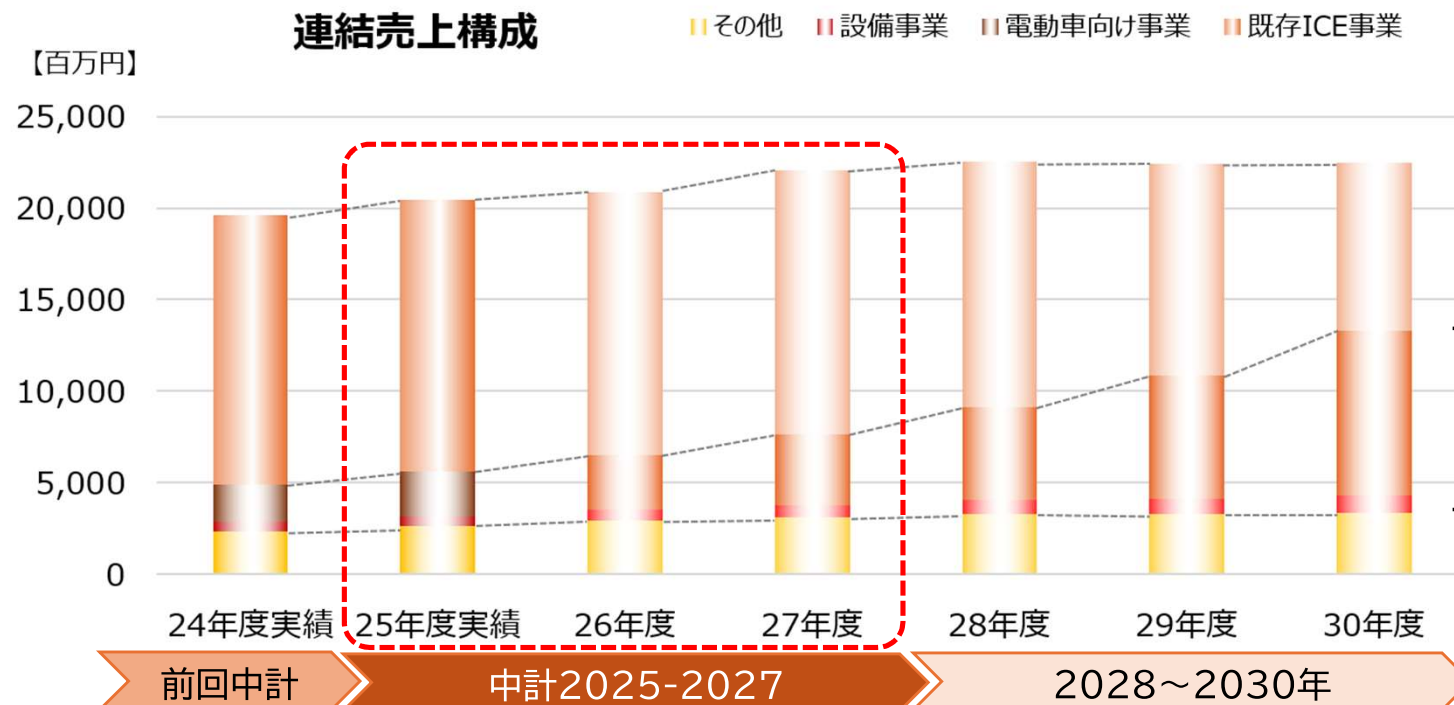


## Ⅱ. 中期経営計画2025－2027の見通し



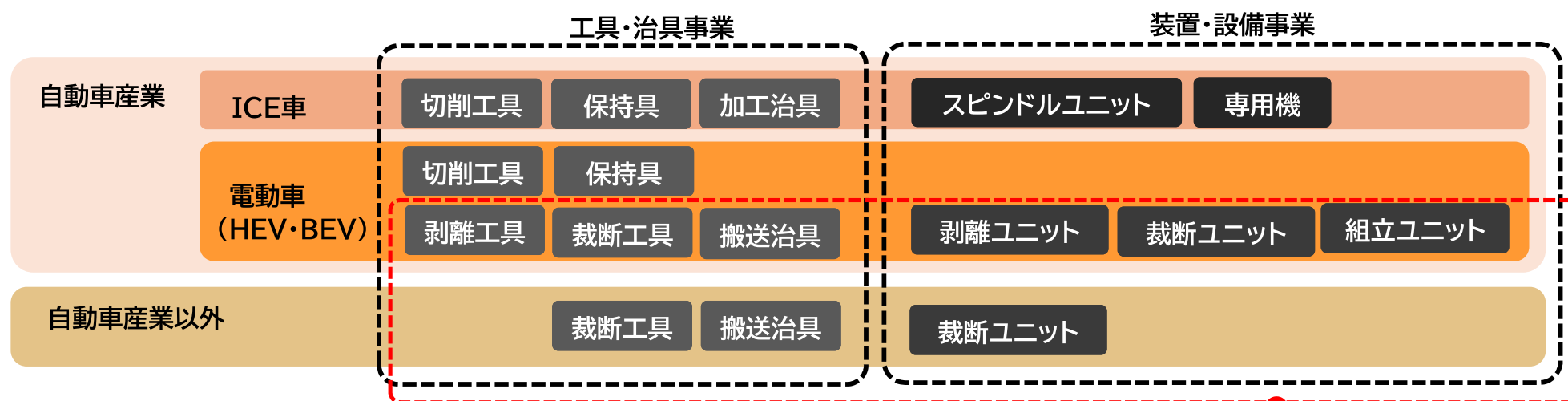
# 中期経営計画2025-2027 事業戦略

## 連結売上構成



ICE (Internal Combustion Engine): 内燃機関  
 電動車: HEV、PHEV、BEV  
 その他: 梱包材・断熱材事業等

電動車市場向け事業、設備事業を  
**新規事業**と位置づけ拡大を強化



新事業分野として  
 中期で取組み拡大

# 中期経営計画2025-2027 事業戦略



## 工具・治具事業

### 事業の見通し

自動車産業界における電動化は確実に進んでいき、内燃機関(=エンジン)の新規開発投資は縮小  
 電動車開発におけるモーター部品、バッテリー部品の加工工具の需要拡大

### 収益目標

連結売上規模      既存ICE:140億円      電動車向け:35億円

### 重点取組

当社の加工技術を軸に工程最適化ソリューションを開発、顧客の生産性向上に貢献

当社生産設備の自動化・省人化による生産性向上及び国内外の生産拠点における生産体制の再編成

# 中期経営計画2025-2027 事業戦略



## 装置・設備事業

### 事業の見通し

顧客の新規設備投資は抑制傾向のなか、既存設備の修理・改造・ユニット更新等の需要は比較的堅調

### 収益目標

連結売上規模 10億円

### 重点取組

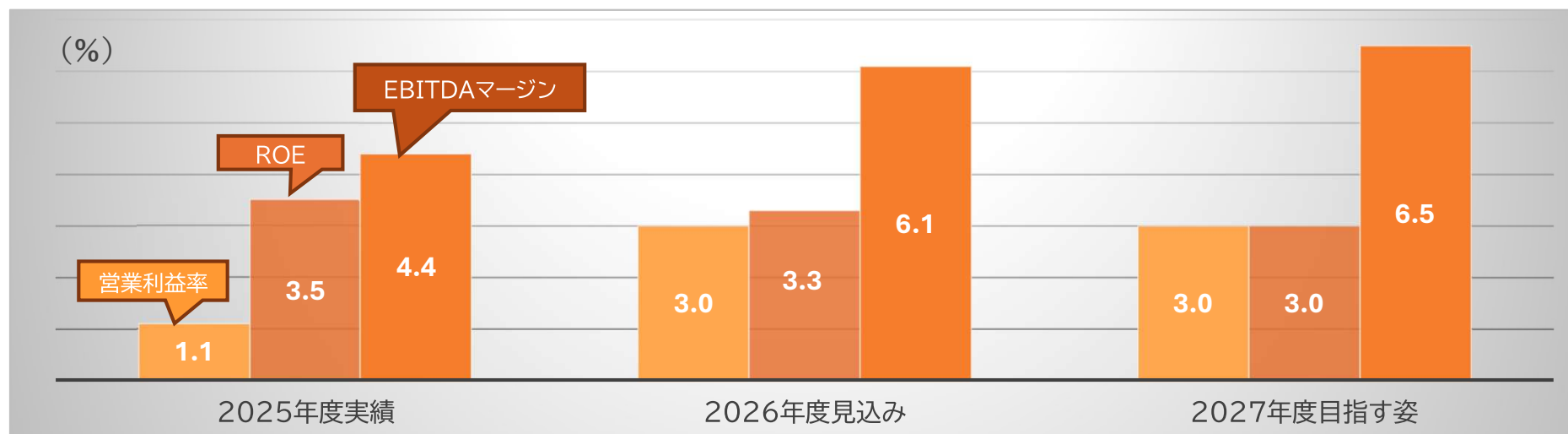
自動車産業において、加工周辺工程を含めた生産性向上に寄与する製品開発

当社のコア技術を活用し、自動車産業以外の成長市場への事業展開の可能性を調査

# 中期経営計画2025-2027 経営数値目標

|             | 2025年度実績<br>(2026年2月期)  | 2026年度見込み<br>(2027年2月期) | 2027年度目指す姿<br>(2028年2月期) |
|-------------|-------------------------|-------------------------|--------------------------|
| 営業利益率       | 1.1%                    | 3.0%                    | 3.0%                     |
| ROE 自己資本利益率 | 3.5%                    | 3.3%                    | 3.0%                     |
| EBITDAマージン* | 4.4%                    | 6.1%                    | 6.5%                     |
| 設備投資額       | 9億円                     | 12億円                    | 10億円                     |
| 株主還元        | 配当金 15円<br>自己株式取得 382千株 | 配当金 50円                 | 配当金 50円                  |

\*EBITDAマージン=(営業利益+減価償却費)/売上高



本資料に掲載されている将来の予想等に関する記述は、資料作成時点で入手した情報に基づき当社で判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。

したがって、実際の業績は様々な要因により、これら業績予想とは異なる結果となる可能性があります。



**C-*max***

---

**FUJISEIKO LIMITED**